

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



世界の窓

Vol.73

オレゴン州ユージーン



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！
案内役は、国際交流員のエマ・セイヤーズさんとアレックス・ロザウスキさんです。

Hello!アレックスです。今回はわたしにたくさんの影響を与えた町、オレゴン州のユージーンについて話したいと思います。そこはオレゴン州2番目の大都市で、人口は154,260人です。

どうしてユージーンがわたしに影響を与えたかというところにあるオレゴン大学に4年半通い、たくさんの素晴らしい経験をし、固い友情を築いたからです。

ユージーンはとてもおもしろい町です。たくさんのコンサートや屋外でする遊びがあります（ランニング、釣り、



アルトンベイカー公園のランニングロード

マウンテンバイクに乗ったりなど）。私のお気に入りのランニング場所は、ウィラメット川沿いにあるアルトンベイカー公園です。そこには森の間を走り抜ける約3kmのアスファルトの道路があるので、ランニングしている時に鳥や野生動物の声を聞くことができます。また、約4,000人が入場できるとも大きな野外ステージもあります。わたしはそこで夏にたくさんのコンサートを見たことがあります。そして観客はいつもとても興奮しています。

ユージーンのマotto（標語）は「世界でもっとも素晴らしい芸術と野外活動の都市」です。そのマottoはまさにその通りだと思います。夏にはたくさんの人々がオレゴンカウンティフェアと呼ばれるイベントにやって来ます。それは3日間夜通しで続く大規模なお祭りです。たくさんの食べ物や工芸品の出店、絶え間ない演奏が行われる18のステージがあり、毎年約45,000人もやって来ます。

わたしの母は、そこで「ライオンズ・オブ・バチユカダ」と呼ばれるブラジル音楽のバンドで演奏しています。

わたしは2005年の秋にオレゴン大学に入学し、すぐ日本語の講義を取りました。オレゴン大学は1876年に設立され、オレゴン州で2番目に古い大学です。約2,200人の学生が在籍していますが、271の異なった教育プログラムがあるので、わたしはたった15人の日本語専攻の学生たちと一緒に学び卒業しました。大学のフットボールチーム「オレゴンダックス」は有名で、著作権のあるマスコットを持っているアメリカでは唯一のチームです。そのマスコットの「ファイティングダック」はオレゴン大学のカラーである緑色と黄色の衣装を着たディズニーのドナルドダックです。

オッツンスタジアムでの試合観戦の様子



オレゴンダックスの試合はオッツンスタジアムいうところで行われます。そこはアメリカの中でもっとも騒がしいといわれるフットボールスタジアムで、約6万人が試合を見ることができます。スタジアム内の音はジェット機から100メートル離れたところに立っているのと同じくらいの音で120デシベルにあたります。

オレゴン大学には外国の交換留学生在通常の大学の講義を受けるまでの間に、英語の学習を手助けするアメリカン・イングリッシュ・インスティテュートと呼ばれる部局があります。

そこでは2週間の集中学習プログラムを提供しています。そのためわたしは世界中から来たたくさんの人たちと出会いました。わたしの親友の一人にイギリス人の家庭教師がいます。彼がわたしに日本や韓国から来た人たち、またイラクから来た30歳の医師などたくさんの人たちを紹介してくれました。



日本が大好きなとても仲の良い親子です

わたしの母です！
町国際交流員のエマ・セイヤーズさん（英国・イングランド出身のお母様 スーク・セイヤーズさんが、9月28日（火）来町して役場を訪問されました。
韓国出身のスークさんは日本語も堪能で、鶴田ですべて日本語で会話をされました。